

令和4年度事務事業評価シート

令和5年3月 日作成

事業番号	2720	担当課等	農林水産課							
事務事業名	農業経営合理化振興事業									
予算科目コード	会計	01	款	05	項	01	目	03	事業開始年度	平成 12 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P44 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	II 地域産業の振興	5 農業	(2) 農業経営の高度化 の促進	④ 農業経営の安定化の 推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
		○							
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
						○			
目的	市場性の高い優良品種みかんの導入、改植をすることにより、直売などによる消費拡大を推進するとともに、鳥獣等による被害を軽減し経営の安定化に寄与する。								
対象	町内農家								
内容	優良品種への更新、改植、伐採等や鳥獣による農作物被害防止のための防除ネットや防護柵等の購入費用の一部助成。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(見込)		
コスト	事業費	2,754,054	1,822,086	1,054,644		
	人件費	常勤職員	1,433,000	1,402,600	1,371,200	
		会計年度任用職員等				
		人件費合計	1,433,000	1,402,600	1,371,200	
	総事業費	4,187,054	3,224,686	2,425,844		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	4,187,054	3,224,686	2,425,844		
	財源合計	4,187,054	3,224,686	2,425,844		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値	
交付予定補助金額	当初予算	円	2,500,000	2,000,000	2,000,000	
申請件数	当初予算	件	100	100	100	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値	
交付済み額	実績	円	2,754,054	1,822,086	2,000,000	
申請件数	実績	件	101	83	100	

3 令和3年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 耕作放棄地の増加や農家の担い手が減少する中、経営向上意欲のある農家を手助けすることは国の施策に合致する。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4 優良品種の導入については、効果がすぐ得られるものではないが、鳥獣被害対策については被害軽減効果が得られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 より良い苗木の導入や被害防止資機材の購入は、経営の安定化に寄与すると考える。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 農業経営者で経営意欲のある農家であれば均等である。

令和3年度までの自己評価または改善点	鳥獣被害防止機材の補助限度額を、5万円から20万円に引き上げた。
--------------------	----------------------------------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	事業の内容上、委託、指定管理にはなじまない。
令和4年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし。	
令和5年度以降の方向性	随時、補助内容の見直しを図り、農家の経営安定化を図っていく。	

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	農家へのアピールと必要に応じて補助内容の見直しを行うこと。
------	----------	-------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和4年度事務事業評価シート

令和5年3月 日作成

事業番号	2727	担当課等	農林水産課							
事務事業名	ふれあい農園振興事業									
予算科目コード	会計	01	款	05	項	01	目	03	事業開始年度	平成 14 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P44 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	II 地域産業の振興	5 農業	(3) ふれあい農園・遊 休農地の活用	① ふれあい農園の規模 拡大				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	農業者以外の者が、野菜、花等を栽培することにより土にふれあい、農業に対する理解を深めることを目的とする。また、農家が自ら市民農園を開設し、もって耕作放棄地対策の一助とするため。								
対象	町民及び湯河原町に固定資産を有するもの。								
内容	農地を借り上げ、ふれあい農園として町民等に貸し付け維持管理を行っている。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(見込)		
コスト	事業費	1,567,079	1,631,025	2,278,051		
	人件費	常勤職員	1,433,000	1,402,600	1,371,200	
		会計年度任用職員等				
		人件費合計	1,433,000	1,402,600	1,371,200	
	総事業費	3,000,079	3,033,625	3,649,251		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源	1,118,250	1,106,250	1,050,750		
	一般財源	1,881,829	1,927,375	2,598,501		
	財源合計	3,000,079	3,033,625	3,649,251		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値	
設置区画	設置区画数	区画	160	160	160	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値	
貸出区画	契約区画数	区画	136	128	140	

3 令和3年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 農家が開設する「市民農園」に移行したいが、現状では厳しいので町が当分の間行う事業である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 土とのふれあいや収穫の喜びは数値化できない。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	3 本来の目的は、農家などが自ら開設する農園の推進と助言であることから成果は得られていない。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 農園利用者にとっては受益の機会は均等である。

令和3年度までの自己評価または改善点	特になし。
--------------------	-------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	2	農家もしくは農業生産法人、地方自治体のみが運営できる。
令和4年度の見直し及び改善(実績または予定)	農家が自ら開設する「市民農園」の開設に向け、町が開設している「ふれあい農園」をモデルにアピールしていく。	
令和5年度以降の方向性	町が開設している「ふれあい農園」をモデルとして継続しながら、農家が開設する「市民農園」を増やし、徐々に民間に移行していく。	

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	農家が市民農園を開設するためのアピールと初期投資に要する経費の補助を検討していくこと。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和4年度事務事業評価シート

令和5年3月 日作成

事業番号	2747	担当課等	農林水産課								
事務事業名	有害鳥獣等被害対策事業										
予算科目コード	会計	01	款	05	項	01	目	0	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P43 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづ くり	Ⅱ 地域産業の振興	5 農業	(1) 農業生産基盤の 整備	③ 有害鳥獣による被害 への対応				
関連する個別計画	湯河原町鳥獣被害防止計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
		○							
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
						○			
目的	野猿、イノシシ等の有害鳥獣による農業被害、生活被害等を防止し、健全な農業振興を図る。								
対象	農業者、町民、湯河原町鳥獣対策協議会、JAかながわ西湘湯河原支店鳥獣対策部会及び神奈川県猟友会湯河原方面支部								
内容	負担金は被害軽減のために設置している鳥獣対策協議会活動費であり、協議会は野猿等追払いにかかる人件費、イノシシ、シカ捕獲駆除に対する報奨金などを支出している。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(見込)		
	事業費	2,393,842	2,964,198	3,067,176	
コスト 人件費	常勤職員	3,582,500	3,506,500	3,428,000	
	会計年度任用職員等	4,800	4,300	9,600	
	人件費合計	3,587,300	3,510,800	3,437,600	
総事業費	5,981,142	6,474,998	6,504,776		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	500,000	500,000	850,000	
	地方債				
	その他特定財源	3,400	3,400	3,400	
	一般財源	5,477,742	5,971,598	5,651,376	
財源合計	5,981,142	6,474,998	6,504,776		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
追払い回数	被害防止対策	回	260	260	260
イノシシ・シカ駆除数予定数		頭	250	350	200
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
追払い回数	被害防止対策の結果	回	297	177	260
イノシシ・シカ駆除数		頭	255	128	200

3 令和3年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 法律に基づき、被害防止策を推進する必要があるため。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 野猿の追払いや駆除への謝礼等であるため、実績に応じた費用である。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4 継続的に行う必要がある。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 定期的な野猿の追払いの実施及び被害通報への対応により、機会の均等は図られている。

令和3年度までの自己評価または改善点	平成24年7月野猿追払い隊を結成、平成29年9月の国補助金要綱の改正に伴い町要綱を改正し、報奨金を増額するとともに、国庫補助金を受けられるよう協議会から支出するよう変更した。報奨金増額のため、県へ補助の要望を行った。
--------------------	--

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	2 農地のみならず街中にも鳥獣が侵入しており、継続的な捕獲・追払いが必要。鳥獣対策協議会が実施する捕獲・追払いは、鳥獣の知識を有する方を隊員とし、巡回している。隊員が高齢化しているので、新たな人材の確保する必要がある。委託については、費用面や鳥獣の通報を受けてからの出動では、間に合わないなどの課題があり、研究が必要である。
令和4年度の見直し及び改善(実績または予定)	サル被害軽減のため、県が実施する事業に野猿の行動を把握するためのデータを提供した。 豚熱に対する捕獲者への支援を実施する。 追払い隊員を募集し隊員を一新し追払い活動を実施した。 追払い活動には限界があるため、県に対してT1群の全頭捕獲するよう要望した。
令和5年度以降の方向性	サルについては、継続的な追払いを実施し、県と協力して加害個体の捕獲や被害防止対策を進める。また、イノシシ等については、捕獲者の確保、捕獲活動に重点をおき、全体数の減少を目指す。 イノシシ等の捕獲報奨金補助を令和3年度より県から補助金を交付され、令和5年度末までの時限措置であるため、令和6年度以降も引き続き県へ要望する。

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	データ等を活用し、更なる被害防止施策を検討していく。
------	----------	----------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和4年度事務事業評価シート

令和5年3月 日作成

事業番号	2775	担当課等	農林水産課							
事務事業名	農林水産まつり開催事業									
予算科目コード	会計	01	款	05	項	01	目	03	事業開始年度	平成 16 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P44 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	II 地域産業の振興	5 農業	(3) ふれあい農園・遊 休農地の活用	② 農業者と観光客との 交流機会の拡大				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
					○	○			
目的	農産物共進会を開催し、生産者の技術の向上及び経営意欲の改善を図る。また、本町の農林水産物を広く町民に紹介し、農林水産業者と消費者の交流を図り、消費の拡大を図る。								
対象	町民、農林水産業者及び近隣市町村の消費者。								
内容	農林水産まつり開催に際し、必要な経費の助成を行っている。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(見込)		
コスト	事業費	314,161	50,000	250,000		
	人件費	常勤職員	2,149,500	2,103,900	2,056,800	
		会計年度任用職員等				
		人件費合計	2,149,500	2,103,900	2,056,800	
	総事業費	2,463,661	2,153,900	2,306,800		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	2,463,661	2,153,900	2,306,800		
	財源合計	2,463,661	2,153,900	2,306,800		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値	
補助金申請額	補助金申請	円	800,000	50,000	250,000	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値	
補助金支出額	収支決算による	円	314,161	50,000	250,000	

3 令和3年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	3 過去にはみかん品評会として、旧中央農協、旧湯河原農協時に交互に行っていたが、対応できないため。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4 町からの補助金を増やすことなく事業が行われているので、効果は得られていると判断する。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 町の内外に、農産物や水産物等の紹介ができています。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 この事業に参加するもの、また会場に来場する全ての人に受益の機会がある。

令和3年度までの自己評価または改善点	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度、令和3年度が中止となり、特に令和3年度は開催直前の感染拡大による中止のため、リース料等のキャンセル代を支払うことになった。
--------------------	--

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 過去には旧2農協が交互に行っていた経緯があるが、現在のJAかながわ西湘のみでは対応できない。
令和4年度の見直し及び改善(実績または予定)	新型コロナウイルス感染症を鑑み、規模を縮小し、農産物共進会を中心としたものとし、JAかながわ西湘湯河原営農経済センターや同中央支店駐車場で開催した。
令和5年度以降の方向性	観光客を含む来場者を増やすイベントなどを検討する。

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	共進会への出品点数を確保することが難しくなってきているので、原因を分析し改善すること。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	開催に当たっては、共同開催でなくても、商工会のみかんサミット実行委員会と協議する必要があります。
------	----------	--

令和4年度事務事業評価シート

令和5年3月 日作成

事業番号	2779	担当課等	農林水産課							
事務事業名	地産地消推進事業									
予算科目コード	会計	01	款	05	項	01	目	03	事業開始年度	平成 20 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P44 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	II 地域産業の振興	5 農業	(2) 農業経営の高度 化の促進	④ 農業経営の安定化の 推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
			○						
目的	農産物の販売を目的とした、朝市等イベント参加、開催、消費拡大の為のPR活動をする町内の農業団体を支援し、地産地消の推進に向けた取り組みを行う。								
対象	農協女性部、駅前農産物直売所運営協議会、JAかながわ西湘湯河原営農経済センター等の地産地消の推進に取り組む団体								
内容	農業振興対策事業として荒廃園地対策や、農業援助育成対策事業として農業団体育成、鳥獣害防止対策などに対する補助金を交付								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(見込)		
コスト	事業費	128,570	43,450	100,000		
	人件費	常勤職員	358,250	350,650	342,800	
		会計年度任用職員等				
		人件費合計	358,250	350,650	342,800	
	総事業費	486,820	394,100	442,800		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	486,820	394,100	442,800		
	財源合計	486,820	394,100	442,800		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値	
補助金申請件数	予算計上件数	件	4	4	4	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値	
補助金交付件数	実施件数	件	5	1	4	

3 令和3年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 生産意欲のある農家や団体に対して、地場産業の育成、推進は必要である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4 徐々にではあるが、売り上げを伸ばしており、即効性はないが継続的に行うことにより、知名度を上げている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4 農業団体及び農家の意欲の向上は図られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 地域の特性を生かした、農産物を生産している農家、農業団体にとっては均等である。
令和3年度までの自己評価または改善点	観光イベントに絡めて活動している。(梅の宴開催期間など)	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	農業団体への補助金であるため
令和4年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし	
令和5年度以降の方向性	補助金については令和5年度から事業名称を「農業援助育成等対策事業」に変更し、JAかながわ西湘各支店等を通じて農業団体等へ周知していく。 また、湯河原産の地場産品のおいしさ、安全性をより多くの消費者にアピールするため、農業団体等の活動PR等を中心に助成していく。	

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	農家の地産地消に向けた取り組みを支援していくこと。
------	----------	---------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	地産地消推進の在り方について、検討を進める必要がある。
------	----------	-----------------------------

令和4年度事務事業評価シート

令和5年3月 日作成

事業番号	2783	担当課等	農林水産課								
事務事業名	農地保全活動事業										
予算科目コード	会計	01	款	05	項	01	目	03	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P43 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	II 地域産業の振興	5 農業	(2) 農業経営の高度 化の促進	① 耕作放棄地対策				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
						○			
目的	農地の確保及び農地の有効性の促進を図る必要から、現在耕作放棄地となっている農地を使用貸借し、景観作物を作付けし農地の保全を図り、農業者、新規就農者へ農地の利用促進を図る。								
対象	町内農家								
内容	菜の花の景観作物の栽培								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(見込)		
コスト	事業費	222,389	309,693	598,639		
	人件費	常勤職員	358,250	350,650	342,800	
		会計年度任用職員等				
		人件費合計	358,250	350,650	342,800	
	総事業費	580,639	660,343	941,439		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	580,639	660,343	941,439		
	財源合計	580,639	660,343	941,439		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値	
景観作物の植付種類	景観作物の植付の費用を 予算計上している。	種	1	1	1	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値	
景観作物の植付種類	実績	種	1	1	1	

3 令和3年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 耕作放棄地対策としてモデルケースとして行っている。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 毎年、菜の花が咲き景観がよいと好評を得ている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	2 農業者や新規就農者への農地の利用促進が図られていない。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	2 モデルケースとして行っているため、対象となる農地が限られている。
令和3年度までの自己評価または改善点	特になし。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	町が農地を借り上げて、農業委員会がモデル事業として行っているため。
令和4年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし。	
令和5年度以降の方向性	令和7年10月31日までの使用賃借契約のため、担い手への農地利用の集積、集約化、耕作放棄地の発生防止対策として検討する。また、農用地の利用の最適化を積極的に推進できるよう農業委員会等と連携を図る。	

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(見直し)	耕作放棄地の発生防止、解消にさらに努めること。
------	---------	-------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(見直し)	
------	---------	--

令和4年度事務事業評価シート

令和5年3月 日作成

事業番号	2808	担当課等	農林水産課							
事務事業名	人・農地プラン策定事業									
予算科目コード	会計	01	款	05	項	01	目	03	事業開始年度	平成 28 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P44 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづ くり	II 地域産業の振興	5 農業	(2) 農業経営の高度 化の促進	⑥ 農業の担い手の育成 化の促進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	地域農業の将来見通し、今後の方向性など地域農業のあり方について集落、地区ごとにプラン(見通し)を作成する。								
対象	農業者、農業団体、新規就農者(個人、農業法人、企業等)								
内容	プラン策定費用及び地域の担い手、農地の集約化など地域農業の将来に関する、意見聴取を取りまとめるための協議会の運営費。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(見込)		
	事業費	0	1,500,016	2,725,643	
コスト 人件費	常勤職員		2,103,900		
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	0	2,103,900		
	総事業費	0	3,603,916		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	0	3,603,916	4,782,443	
	財源合計	0	3,603,916	4,782,443	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
協議会・地区懇談会の開催予定回数	プランの承認、制定についての会議回数	回	0	1	1
実質化されたプランの公表	公表	回	0	0	1
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
実施回数	同上	回	0	0	4
実質化されたプランの件数	湯河原支店地区・湯河原中	件	0	0	2

3 令和3年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 地域農業の未来図を協議する場であり、町がイニシアチブをとる必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4 方向性を示す為のものであり、目に見える効果はない。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4 見直しを行うため成果は得られる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4 意欲のある農家、企業等にとっては均等である。

令和3年度までの自己評価または改善点	平成28年度にプランを策定し、平成29年度と平成30年度にプランの見直しを行ったが、平成31年度(令和元年度)に人・農地プランの実質化について国のガイドラインが示されたことから、農地所有者に対し、実質化に向けたアンケート調査を実施した。
--------------------	--

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 農業の振興、農地の集積など地域農業のあり方については、町で計画の策定を行う必要がある。
令和4年度の見直し及び改善(実績または予定)	JAかながわ西湘湯河原支店管内及び湯河原中央支店管内を鍛冶屋区と吉浜区・川堀区・中央区・福浦区の二つに分け、実質化に向けた話し合いを3回開催した。その話し合いの結果等を踏まえ、令和4年11月に「実質化された人・農地プラン」をホームページで公表した。
令和5年度以降の方向性	令和5年4月1日に施行される農業経営基盤強化促進法の改正に伴い、「人・農地プラン」が「地域計画」と名称を変えて法定化される。そのため、令和6年度中に「地域計画」を農業委員会等と協力して策定する。

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(見直し)	令和6年度中に「地域計画」を策定する。
------	---------	---------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(見直し)	
------	---------	--

令和4年度事務事業評価シート

令和5年3月 日作成

事業番号	2831	担当課等	農林水産課							
事務事業名	県営土地改良広域農道(小田原湯河原地区)整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	05	項	01	目	04	事業開始年度	平成 8 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P45 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	Ⅱ 地域産業の振興	3 農業	(1) 農業生産基盤の 整備	② 広域農道の整備				
関連する個別計画	広域営農団地農道整備計画、神奈川県地域再生計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
		○							○
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	小田原市から、真鶴町、湯河原町につながる広域的な基幹農道を整備することにより、集出荷作業の省力化、流通の合理化等を図り、農業の振興を中心とした地域の活性化を推進する。								
対象	農業者、町内外の広域農道利用者								
内容	県営土地改良事業のため法律に基づいた地元負担金の支出 全体計画:16,974m 湯河原町分:3,186m。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(見込)		
	事業費	4,961,500	7,700,000	8,146,000	
コスト	常勤職員	716,500	685,600		
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	716,500	685,600		
総事業費	5,678,000	8,401,200	8,831,600		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債	4,400,000	7,300,000		
	その他特定財源	561,500			
	一般財源	716,500	1,531,600		
財源合計	5,678,000	8,401,200	8,831,600		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
整備延長	整備延長	m	100	3	3
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
整備率	整備延長/全体×100	%	5.12	0.15	0.15
湯河原2期分	L=1,954m				

3 令和3年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 土地改良法に基づく事業の負担金であり、将来的に道路は町に移管されるため。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4 現在2期工事中であり、全線開通したおりに効果は得られる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4 現在2期工事中であり、全線開通したおりに成果は得られる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 事業完了後は、町に移管されるため農家だけではなく、広く町民等も利用できる。

令和3年度までの自己評価または改善点	既設農道との擦り付けや雨水排水の流末について県との調整を行った。
--------------------	----------------------------------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	3市町をつなぐ広域農道であるため、県が事業主体となっている。
令和4年度の見直し及び改善(実績または予定)	平成30年度に交わした排水設計基準に基づき、既存農道と、広域農道の交差箇所の協議をおこない工事を実施する。町道幕山公園通り線から黄金松農道までの供用開始を協議する。	
令和5年度以降の方向性	平成30年度に交わした排水設計基準に基づき、既存農道と、広域農道の交差箇所の協議を進め、早期完成を目指す。	

5 一次評価(令和5年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	早期完成を目指し関係各機関への要望を強化し、事業の継続を推進すること。
------	----------	-------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和4年度事務事業評価シート

令和5年3月 日作成

事業番号	2837	担当課等	農林水産課								
事務事業名	農道維持管理事業										
予算科目コード	会計	01	款	05	項	01	目	04	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P45 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	II 地域産業の振興	3 農業	(1) 農業生産基盤の整備	① 農道の整備				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	農道の機能保全のための維持管理。								
対象	町管理農道全部								
内容	農道の維持管理に必要な委託料、修繕費、材料費などを計上。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(見込)		
コスト	事業費	1,511,560	1,913,840	5,319,000		
	人件費	常勤職員	1,484,800	2,804,000	2,742,000	
		会計年度任用職員等				
		人件費合計	1,484,800	2,804,000	2,742,000	
	総事業費	2,996,360	4,717,840	8,061,000		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	2,996,360	4,717,840	8,061,000		
	財源合計	2,996,360	4,717,840	8,061,000		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値	
実施予定件数	修繕を必要とする箇所	箇所	13	11	11	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値	
実施件数	修繕等を行った箇所	箇所	13	11	11	

3 令和3年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 町管理の農道の維持管理費用であり、農道利用者の安全な通行を確保するために必要である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4 農道の補修や草刈り等を行うことによって、道路としての機能が保たれる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4 施設の老朽化が起きているため、予算内の対応となるため部分的である。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 主要な農道は、農家のみならず、一般の人が利用する状況であり、利用者にとっては均等である。
令和3年度までの自己評価または改善点	住民からの通報によって対処できた。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	町管理の農道である。
令和4年度の見直し及び改善(実績または予定)	パトロールを行い不良箇所の早期発見に努め、初期段階で対応することによりコストの削減を図る。	
令和5年度以降の方向性	事故や自然災害の未然防止のため、大雨や台風シーズン前のパトロールを強化し、不良箇所の早期発見に努める。	

5 一次評価(令和5年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	農道の老朽化などに伴い、道路補修など地域からの要望が増えてくると予想されるので、効率的、効果的に維持管理をしていくこと。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和4年度事務事業評価シート

令和5年3月 日作成

事業番号	2885	担当課等	農林水産課							
事務事業名	地域水源林整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	05	項	02	目	01	事業開始年度	平成 19 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P48 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	II 地域産業の振興	4 林業	(1) 林業基盤の整備	③ 育林の指導援助				
関連する個別計画	第3期 市町村5か年計画(地域水源林整備)(平成29年度～平成33年度)								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
						○			
目的	県の「かながわ水源環境保全再生実行5か年計画」に基づき策定した、町の「地域水源林整備計画」により町有林、私有林を含めた間伐等を実施し、水源林の保全・整備を推進するものです。								
対象	町内地域水源林指定区域。								
内容	町有林については、間伐等の実施、私有林については長期施業受託委託による補助金を県森林組合連合会に支出。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(見込)		
コスト	事業費	40,715,160	29,366,172	11,743,000		
	人件費	常勤職員	2,227,200	2,103,600	2,056,800	
		会計年度任用職員等				
		人件費合計	2,227,200	2,103,600	2,056,800	
	総事業費	42,942,360	31,469,772	13,799,800		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金	40,700,000	29,300,000	11,700,000		
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	2,242,360	2,169,772	2,099,800		
財源合計	42,942,360	31,469,772	13,799,800			
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値	
実施面積(町有林)	年度ごとの整備面積	ha	8.1	6.4	6.4	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値	
整備率(5ヶ年計画 44.6ha)	整備面積/全体×100	%	18.2	14.3	14.3	

3 令和3年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 町の条例において、町の責務として位置づけられている。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	5 水源環境保全税が原資として、森林整備を図ることにより、水源かん養など公益性の高い森林づくりができた。
類似性	他事業との類似はないか	
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 継続的に事業を進めることで、水源かん養や土砂流出防止、生物多様性の保全などが図られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 水源地域の環境保全に役立つため、水道利用者に恩恵があり、公平性は高い。
令和3年度までの自己評価または改善点	特になし。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	町有林に関しては、所有者の責務である。
令和4年度の見直し及び改善(実績または予定)	市町村5か年計画の推進をすると共に、第4期市町村5か年計画の策定を行った。	
令和5年度以降の方向性	水源林の確保、整備を進めることで、引続き水源かん養など公益的機能の高い森林づくりを目指す。	

5 一次評価(令和5年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	森林の整備を行うことにより、保水力の維持、水源の確保、大雨による土砂流出、流木等による被害を防ぐことは重要であるため、本事業を計画的に継続していくこと。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和4年度事務事業評価シート

令和5年3月 日作成

事業番号	12036	担当課等	農林水産課							
事務事業名	ナラ枯れ被害対策事業									
予算科目コード	会計	01	款	05	項	02	目	01	事業開始年度	令和 2 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P46 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	Ⅱ 地域産業の振興	4 林業	(1) 林業基盤の整備	② 生活環境保安林の整備				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
						○			
目的	ナラ枯れ被害を受けた樹木が倒木した際に、林道、農道の通行に支障をきたす恐れのあるものについて伐採等の対策を行うもの。								
対象	林道等利用者の安全を図る。								
内容	ナラ枯れ被害を受けた樹木の伐倒、くん蒸処理								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(見込)		
コスト	事業費	1,617,000	957,000	137,500		
	人件費	589,660	579,560	566,600		
	常勤職員					
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	589,660	579,560	566,600		
	総事業費	2,206,660	1,536,560	704,100		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金	248,296	267,171	0		
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	1,958,364	1,269,389	704,100		
	財源合計	2,206,660	1,536,560	704,100		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
ナラ枯れ被害樹木の伐倒			本	27	22	22
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
ナラ枯れ被害樹木の伐倒数			本	27	22	22

3 令和3年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 町有林である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 ナラ枯れ被害立木の伐倒処理であるため、安全上効果はある。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 ナラ枯れ被害立木の処理という目的に合致している。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 均等である。
令和3年度までの自己評価または改善点	特になし。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	伐倒処理は委託費で計上され入札である。
令和4年度の見直し及び改善 (実績または予定)	町有地にあるナラ枯れ被害を受けた樹木が倒木した際に、林道、農道の通行に支障をきたす恐れのある立木の伐倒・くん蒸処理を進める。	
令和5年度以降の方向性	町有地にあるナラ枯れ被害を受けた樹木が倒木した際に、林道、農道の通行に支障をきたす恐れのある立木の伐倒・くん蒸処理を進める。	

5 一次評価(令和5年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	感染防止や民有地のナラ枯れ対策について、近隣市町との情報共有に努めること。
------	----------	---------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和4年度事務事業評価シート

令和5年3月 日作成

事業番号	2906	担当課等	農林水産課								
事務事業名	林道維持管理事業										
予算科目コード	会計	01	款	05	項	02	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P48 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	II 地域産業の振興	4 林業	(1) 林業基盤の整備	① 林道の整備				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	林道の安全を確保するために、維持管理を行うもの。								
対象	町内全域林道								
内容	林道の維持管理に関わる修繕料を計上するとともに、林道の清掃作業を委託している。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(見込)		
コスト	事業費	685,000	504,600	989,000		
	人件費	常勤職員	716,500	701,200	685,600	
		会計年度任用職員等				
		人件費合計	716,500	701,200	685,600	
	総事業費	1,401,500	1,205,800	1,674,600		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	1,401,500	1,205,800	1,674,600		
	財源合計	1,401,500	1,205,800	1,674,600		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値	
実施予定件数	修繕を必要とする箇所	箇所	2	1	1	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値	
実施件数	修繕等を行った箇所	箇所	2	1	1	

3 令和3年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 町管理の林道であり、林道利用者の安全な通行を確保することは町の責務である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4 道路としての機能は保たれているため、効果は得られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4 部分的な対応となるが、成果は得られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 林業者や地権者のみではなく、ハイカーが利用しているため、利用者にとっては、均等である。

令和3年度までの自己評価または改善点	特になし。
--------------------	-------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	町管理の林道の維持管理である。
令和4年度の見直し及び改善(実績または予定)	パトロールを行い不良箇所の早期発見に努め、初期段階で対応することによりコストの削減を図る。	
令和5年度以降の方向性	事故や自然災害の未然防止のため、大雨や台風シーズン前のパトロールを強化し、不良箇所の早期発見に努める。	

5 一次評価(令和5年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	日頃からのパトロールを重視し維持管理に努めること。
------	----------	---------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和4年度事務事業評価シート

令和5年3月 日作成

事業番号	2914	担当課等	農林水産課							
事務事業名	幕山保安林地域整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	05	項	02	目	03	事業開始年度	平成 2 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P48 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづ くり	II 地域産業の振興	4 林業	(1) 林業基盤の整備	② 生活環境保安林の整 備				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
						○			
目的	幕山保安林内(梅林内)を良好に保つため、下草刈り、剪定等を行う。								
対象	幕山保安林内(梅林内)								
内容	下草刈り、剪定等を行う。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(見込)			
	事業費	16,935,309	14,931,000	16,292,000		
コスト	常勤職員	1,433,000	1,402,400	1,371,200		
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	1,433,000	1,402,400	1,371,200		
総事業費	18,368,309	16,333,400	17,663,200			
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	18,368,309	16,333,400	17,663,200		
財源合計	18,368,309	16,333,400	17,663,200			
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値	
整備面積	整備面積	ha	7.2	7.2	7.2	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値	
整備率	整備面積/全体×100	%	100	100	100	

3 令和3年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 保安林(梅林内)の整備は、観光資源の観点からも必要不可欠となっており、町が整備することは必要である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 梅の花の咲き具合で判断できる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 整備を充実することにより、良好な状態で観光等への活用が図られる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 梅林は年間を通じて解放されているため、受益の機会は均等である。
令和3年度までの自己評価または改善点	ウメ輪紋ウイルス検査を令和元年度において引き続き行ったが、ウメ輪紋ウイルスは検出されなかった。また、桜郷地区森林整備事業を併せておこなった。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	町有林であり、かつ保安林でもある。一部民地(農地)があるが町で行うべきである。
令和4年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし。	
令和5年度以降の方向性	町の観光資源である梅林の維持管理に努めるため、専門家に指導、管理指針作成を依頼する。 新たに他の場所からの植林等を行った際にはウメ輪紋ウイルス検査を検討する。	

5 一次評価(令和5年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	梅林は、町の重要な観光資源でもあり、継続的かつ適切な管理を行っていくこと。
------	----------	---------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和4年度事務事業評価シート

令和5年3月 日作成

事業番号	2940	担当課等	農林水産課								
事務事業名	漁業振興対策事業										
予算科目コード	会計	01	款	05	項	03	目	01	事業開始年度	昭和	年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P50 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	II 地域産業の振興	5 漁業海業	(3) 漁業経営改善の 促進	② 整備の近代化の促進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
					○				
目的	漁業振興のため、福浦漁業協同組合が実施する、定置網、経営改善、近代化事業 に対して助成する。								
対象	福浦漁業協同組合								
内容	稚貝・稚魚の放流や漁港施設の維持管理修繕等								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(見込)		
コスト	事業費	950,000	950,000	900,000		
	人件費	常勤職員	358,250	350,600	342,800	
		会計年度任用職員等				
		人件費合計	358,250	350,600	342,800	
	総事業費	1,308,250	1,300,600	1,242,800		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	1,308,250	1,300,600	1,242,800		
	財源合計	1,308,250	1,300,600	1,242,800		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値	
補助金支出金額	補助金申請書による	円	950,000	950,000	950,000	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値	
実績報告	実績報告書による	円	950,000	950,000	950,000	

3 令和3年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	4 町管理の漁港であるので、施設の維持管理は町が行うべきである。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 施設の維持管理修繕に使用されているので、効果は確認できる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	3 場当たりの要素があるが、施設の維持管理修繕については、継続的に実施していく必要がある
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4 漁業協同組合及び組合員であれば均等である

令和3年度までの自己評価または改善点	特になし。
--------------------	-------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 補助金として支出している。
令和4年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし。
令和5年度以降の方向性	町補助金交付要綱に基づいて、支出する。

5 一次評価(令和5年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	漁業振興に向けた事業を展開できるよう指導していくこと。
------	----------	-----------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--